

青少年育成だより

発行 塩尻市青少年育成センター

電話 52-0894



10月の活動日誌から ～各地区の活動紹介～



10月1日(水) 宗賀

宗賀小学校と塩尻西部中学校の通学路の見守りと、宗賀・洗馬地区の巡回を行いました。小学校の北側の道路が狭くなる場所では、自然と一列になって歩く小学生の姿が見られましたが、中学生の方が道路の左右両側を歩くなど、車の方が避けて通る場面もありました。両学校周辺の交差点での見守りの後は、洗馬方面を車で巡回しました。晴れていた空も急に雲行きが怪しくなり、今にも雨が降り出しそうな中でしたが、子どもたちは気にする様子もなく楽しそうに歩いていました。

10月2日(木) 広丘

当日は塩尻警察署生活安全課より2名の参加をいただき、塩尻少年警察ボランティアの皆さんと合同にて広丘駅、えんてらす、広丘短歌公園、GAZAを巡回しました。広丘駅、えんてらすでは手分けして駐輪場自転車の施錠確認を実施しました。昨年に比べて無施錠自転車の台数は減少しましたが、広丘駅東口では17台、西口では11台、えんてらすでは8台の無施錠自転車が見つかりました。所有者のリスク対策向上が望めます。また、自転車の荷台に、ヘルメットが何の盗難対策も無くそのまま置かれており、併せて盗難等の対応が必要と思います。広丘短歌公園でスケートボードにより騒音への苦情があるとのことでしたが、当日は遊ぶ姿は見られませんでした。GAZA店内も手分けしてパトロールしました。買い物を楽しむ親子にあいさつ、声かけをしましたが、特に問題となるような場面、状況はありませんでした。再集合して生活安全課より防犯カメラの効果など講評をいただきました。



10月17日(金) 北小野

今日は、両小野小学校、両小野中学校の通学路の見守りを行いました。小学校は、3時前から下校が始まり、一年生は仲良くまとまって下校していききました。後から一人遅れて出てきた子は、急いでみんなに追いつこうとして走っていくと、上級生の子が「走ったら危ないよ」と優しく声をかけて、待っていてくれました。4時を過ぎると中学生の姿も見られるようになりましたが、五差路の交差点は、夕方でも交通量も多い上に、日差しが眩しい時間帯でもあり、歩行者、ドライバー共に注意が必要だと感じました。



10月22日(水) 吉田

吉田小学校と丘中学校の通学路の見守りを行いました。小学生は、交差点で止まらずに通り過ぎようとする子が多く、一旦止まることを改めて伝えました。足元に「止まれ」と書いてあっても、慣れてしまったり話に夢中になっている時などは目に入っていないように感じました。その後、中学校の通学路に移動し交差点で見守りを行いました。学校入口の信号機から善立寺周辺にかけては、利用する生徒が多いわりに歩道が狭いところがあり、交通量も多いため、度々危ないと感じる場面がありました。



★11月の地区別活動予定

11/6(木)	大 門	警察ボランティアとの合同巡回
11/11(火)	塩尻東	塩尻中学校啓発活動
11/14(金)	北小野	両小野小・中学校あいさつ運動
11/21(金)	吉 田	丘中学校啓発活動
11/26(水)	檜 川	檜川小中学校付き添い下校

11月は
『 秋の子どもまんなか月間です 』

3団体合同研修会を行いました

10月8日(水)塩尻少年警察ボランティア協会、子ども会育成連絡協議会、青少年育成委員協議会合同研修会を行いました。この研修会は、日頃それぞれの組織で活動をされている委員の方々が一堂に会し、青少年の現状について理解を深め、その認識を共有することを目的に開催しています。



今年は、吉田地区で「お気楽カフェ」を主催されている熊澤千奈美さんを講師に、『～地域の子もたちへ～私ができる働きかけ』と題して、講演会を行いました。お気楽カフェは、熊澤さんが民生委員を経験した際に、約7人に1人が貧困という市内の現状を知り、何かできないかという思いから始まりました。食事の支援が目的ではなく、誰もが気軽に立ち寄れ、世代を問わず同じ時間を共有して楽しめる居場所、みんながゆるくつながれる場所として活動を続けておられるとのことでした。

長野県防犯セミナー防犯ボランティア地域交流会が行われました



10月9日(木)塩尻市レザンホールで、長野県防犯セミナー防犯ボランティア地域交流会が行われました。

これは、県民一人ひとりが、

自らの安全、地域の安全への意識を高めるとともに、地域のきずなを一層強め、地域ぐるみで犯罪予防に向けた活動を推進することを目的としたものです。第一部では、活動に尽力された方々への表彰と、「電話でお金詐欺」に関する劇を鑑賞し、第二部では、「ハードとソフトを組み合わせた防犯まちづくり」と題して、東京大学大学院工学系研究科樋野公宏准教授を講師に講演会が行われました。活動従事者の高齢化による自主防災ボランティアの減少という課題に対し、日常生活に防犯の視点を加えた「**ながら見守り**」と住民参加による「**防犯まちづくり**」が重要とのことでした。

11月は「子ども・若者育成支援強調月間」です

子どもたちを取り巻く社会問題は複雑化し、これらの諸問題の解決には、行政や学校、家庭、子ども・若者の育成支援に関わる団体が連携協力するとともに、地域が一体となって取り組むことが重要です。



～ 秋のこどもまんなか月間 ～

長野県では、こども家庭庁が定める「秋のこどもまんなか月間」の取組の一つとして、11月を「子ども・若者育成支援強調月間」と位置づけ、子どもや若者を地域全体で支えていく社会を築くために、家庭、学校、地域住民、企業、団体及び行政が一体となり、子ども・若者育成支援への理解を深め、課題を解決するための活動を集中的に行います。

★ 月間の重点課題 ★

- ・インターネット利用における子どもの犯罪被害等防止
- ・青少年を有害な社会環境等から守るための取組の推進
- ・児童虐待の予防と対応

塩尻市青少年育成イベント 松本山雅わくわく スポーツ広場を開催します



©2011YAMAGA

塩尻市では、11月の強調月間に合わせて、青少年育成イベント「**松本山雅わくわくスポーツ広場**」を開催します。このイベントは、子どもたちが主体的に活動するための場を提供し、地域との交流を推進していくことを目的として、昨年に引き続き2回目の開催となります。松本山雅のクラブプロモーション担当の片山さんを講師にお迎えし、市内在住の小学生とスポーツを通じた交流を行います。詳細につきましては、お送りした通知を御覧ください。

交流文化部 社会教育スポーツ課 社会教育係

電話：0263-52-0894

FAX：0263-53-7604

窓口：塩尻総合文化センター1階 総合受付

担当：林 奏芽、上條 勝美